

第11・12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

書名		新しい道徳 (東京書籍)
項目		
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領の 教科の目標との 関わり		<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○生徒が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視している。評価にも生かせる振り返りのページがあり道徳教育との関連を取り上げている。各教材には「考えさせたい観点(内容項目)」が分かりやすい言葉で書かれており、その横にタイトルがつけられている。</p> <p><人間としての生き方を深めていくことができるようにする工夫></p> <p>○東京消防庁インターネットモニターによる情報モラルに関するアンケート調査結果など、身近な問題として捉えることができる資料が掲載されている。そのアンケートから自分自身へと置き換えて考えることができるようにしている。また、事実に基づいた話や著書、新聞記事を用いた題材を多く掲載している。</p> <p><道徳性を育成するための工夫></p> <p>○実際の投書に対する意見が、年齢や職業など様々な分野から寄せられており、多くの価値に触れることができる。「ACTION」コーナーが設けられ、役割演技を行うことで、心情に迫ることができる。またそれぞれの役割を通して、伝え方や考え方を深めることができるようになっている。</p>
特 色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○いじめ問題を全学年2項目ずつ取り入れている。</p> <p>○全学年「情報モラルと友情」が配置されている。特に2、3年生ではSNSのトラブルが扱われている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○「生命の尊さ」を重点項目とし、全学年2項目ずつ配置されている。1学年では自分自身に関わる命について、2学年では他者の命の大切さに、3学年では医療や生命の大切さを考える題材を取り上げている。</p> <p>○全学年にスポーツ界で活躍する人物や、著名人を題材にしている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「話し合いの手引き」があり、考え議論するためのヒントに繋がっている。</p> <p>○巻末には「自分の学びを振り返ろう」という切り取り式のワークシートがあり、自分自身の振り返りができるようになっている。また各学年では役割演技や体験的学習のグループエンカウンターを取り上げた「ACTION」コーナーが設けられている。</p>
	資 料	<p>○「デジタルコンテンツ」を表す「Dマーク」がついている教材については、タブレットなどの端末で教科書ARというアプリを起動させることで教材に関連した画像や動画が提示することができる。</p>
	表 記・ 表 現	<p>○道徳の授業で学習する4つの視点がマークされている。4つの視点と内容項目ごとに分類し、示している。</p> <p>○特別な支援を必要とする生徒のために、設問などでは文節で区切る、シンプルな紙面にするとといった工夫をなされている。</p>
総 括		<p>○写真やイラストの大きさが適切であり、本文の妨げにならないようにしている。また、全項目に「考えてみよう!」が設けられ、考えを深めることができるように工夫している。著名人を題材とする教材を取り上げており、生徒の興味・関心を引く内容となっている。学期ごとに「自分の学びを振り返ろう」が設けられ、自分自身について振り返ることができる。従来の副読本と比べて大きくAB判になっている。</p>

第11・12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
 種目(教科等)【 道徳 】

書名		輝け 未来 中学校道徳 (学図)
項目		
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領の 教科の目標との 関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫> ○考えを引き出し、議論を深めるために主題名・発問・意見交換のポイントをすべての項目に設けている。「学びの記録」や「一年間の振り返り」は指導や評価につながるものとなっている。主題名の下には何について学ぶのか、ひと目で分かるように、「大切なポイント」のマークが表示されている。</p> <p><人間としての生き方を深めていくことができるようにする工夫> ○巻頭に学級づくりの内容が掲載されており、話し合いを進めるための重要なポイントを示している。「一年間の振り返り」では自分自身の成長を振り返ることができ、自己を見つめ自己の生き方について深められるようになっている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○道徳的諸価値をより実践的なものにするため、すべての項目で「心の扉」を設けている。 ○学期ごとに2ページに渡る「学びの記録」があり、学んだことや自分自身の考えを書き込むことができる。ひと目で年間を通じた自分自身の変容を振り返ることができる。</p>	
特色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○全学年「情報モラル」について取り上げている。特に3年生ではインターネットの使い方について深く考えさせる内容となっている。 ○どの学年でも「生命の尊さ」を考えさせる教材がある。特に3年生では実体験をもとにした教材が掲載されている。また、命の大切さについて考える機会がもてるように工夫している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○1、2年生ではスポーツ界で活躍する人を題材とし、がんばることの大切さや諦めずに努力することの大切さを考える教材が掲載されている。3年生では、伝統の継承や世界に影響を与えた偉大な人物を取り上げるなど学年を追って内容の深化が図れるよう工夫している。 ○生命の尊さでは1年生では命の大切さ、2年生では生かされていることへの気づき、3年生では命あるからこそその尊さを考える構成となっている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○教材の後にある「学びに向かうために」や「心の扉」では、問題解決的な学習や体験的な活動を発問の中に取り入れるといった工夫が見られる。</p>
	資 料	<p>○スポーツ界で活躍した人物や、著名人を取り扱った教材が多く、生徒が親しみをもって取り組むことができる。 ○写真やイラストだけではなく、新聞記事なども教材として掲載されており、より内容を深めるものとなっている。</p>
	表記・表現	<p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。目次では4つの視点を色分けで示している。「大切な10のポイントのマーク」を使って学習の内容が明確になっている。 ○難しい言葉には※印をつけ、下段に意味を簡潔に表記している。</p>
総 括	<p>○図やイラストの他にアンケート結果があることで、興味を引く工夫をしている。更に、考え、議論を充実させるために「学びに向かうために」「心の扉」が多く設けられている。現代の生徒が共感できる読み物が多く、自分のこととして考えられるものとなっている。</p>	

種目(教科等)【 道徳 】

<div style="text-align: center;">書名</div> <div style="text-align: left;">項目</div>	<div style="text-align: center;">とびだそう未来へ 中学道徳 (教育出版)</div>
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領の 教科の目標との 関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫> ○内容項目については直接的な表記はないが、教材のタイトルの下には分かりやすい言葉で、導入時に生徒に問いかけること（例 思いやりとはどういうことだろう）が印字されている工夫が見られる。また、教材の最後には「学びの道しるべ」というコーナーがあり、内容項目にせまるための発問が掲載されている。</p> <p><人間としての生き方を深めていくことができるようにする工夫> ○巻頭に3学年を通して深く考えていく内容が明記されており、見通しをもって授業に取り組む事ができるようになっている。「やってみよう」では、役割演技（ロールプレイング）を通じて、自己を見つめ、他者の意見にも耳を傾け、様々な考えに触れる事ができるようになっている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○全学年の巻末に「次年度への目標」や「振り返り」があり、一年間の自分自身の変容を見とることができるように工夫されている。保護者からのコメントも記入ができるようになっており家庭との連携にもつながる。 ○巻末にある表には、全ての教材名と内容項目がまとめてあり、自分の印象に残った教材に色を塗るといった、ユニバーサルデザインを意識した工夫がある。</p>
特 色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○すべての学年でスマホの使い方やSNSの問題を取り入れている。1年生ではルールやマナーについて、2年生ではどう向き合っていくのかについて、3年生ではそれらの問題についてどう対処していくのか、それぞれ考える内容になっている。 ○全学年でいじめを取り扱っている。主題名の下に考えるヒントが示されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○1年生で「富士山の自然」についての内容が取り込まれている。学校行事と関連させて、世界遺産や自然を守ることに考えることができる。2、3年生ではスポーツ界・技術分野などで活躍している人物を多く取り入れ、生き方や、諦めないことについて触れることができるようになっている。 ○1年生では自分自身に関することの教材を多く扱うが、学年が上がるにつれて、人との関わりや集団や社会との関わり教材に重点を入れている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○教材の後ろにある「学びに向かうために」や「心の扉」では、問題解決的な学習や体験的な活動を発問の中に取り入れるといった工夫がある。</p>
資 料	<p>○学校行事との関連をもたせることができ、指導がしやすくなっている。 ○写真がとても綺麗で興味をひく工夫がされている。大きさや量なども妥当である。</p>
表記・表現	<p>○難しい言葉には※印をつけ、下段に意味を簡潔に表記している。 ○道徳で学ぶ内容を4つの視点を色で分けて示している。 ○作者名を教材の冒頭には掲載せず、文末に掲載している。</p>
総 括	<p>○図やイラスト、アンケート結果が掲載されていることで、生徒の興味関心をひくことができるようになっている。リアルタイムで考えられる内容が多くなっている。現代の生徒が共有できる教材が多く、自分との関わりで考えられるものとなっている。教科書のサイズがB5判になっている。</p>

種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 道徳 きみが いちばん ひかるとき (光村図書)	
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領の 教科の目標との 関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫></p> <p>○考え・議論したくなる授業を展開するために、めあてを提示している。また、道徳的な問題を明らかにする問い、道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い、価値の一般化を意識した問い、の3段階構成となっている。また、学びを振り返り、自己の変容を実感できるようなコーナーを設置している。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫></p> <p>○巻頭詩・とびら詩を設け、生徒が自分自身を見つめられるように構成されている。等身大の生徒の葛藤、先人や現在活躍する人物の生き方を扱った、生徒の心を捉える多様な教材が配されている。生徒が自分自身と照らし合わせながら「考えずにはいられない」教材が選定されている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫></p> <p>○教材に合わせて、登場人物への自我関与、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を織り交ぜながら、道徳的価値の自覚を深められるように工夫されている。教材末には「私の気づき」があり、自己の成長や心の変容を実感することができるようにしている。</p>	
特色	特 内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○現代的な課題として「いじめ問題」「情報モラル」「共生」「社会参画」「環境」「国際理解」の6つが取り扱われている。各題材について、教材とコラムを関連付けて配置している。</p> <p>○各学年のシーズン1の終わりには、コラム「人と人の関係づくり」を設け、人とより良い関係を作るためのコツを身につける取り組みが提示されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○「生命を大切に思う心」の育成に重点を置き、各学年3教材掲載している。1年間を4つのシーズン(まとめ)に分け、さらに各シーズンの中には内容項目の関連を持つ複数の教材で構成されたユニットが設けられ、見通しをもたせる工夫をしている。</p> <p>○発達段階と教材に合わせて、「あなたは、どう思うか」「あなたが〇〇だったら、どうするか」という問いを配し、主体的に考えることができるように工夫されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○全学年を通して、教材末の手引きには「考える観点」が設けられており、教材を通して学んだことを自分に引きつけて考えたり、問題解決したりするために「話し合う」ことを意図した発問が置かれており、主体的で対話的な活動を促す工夫をしている。</p> <p>○第1学年、第2学年の冒頭には、対話することで考えを深めていくことが道徳の授業であることを生徒に示す「『対話』で広がる、道徳の時間」が設けられており、考える道徳・議論する道徳の具現化を図っている。</p>
	資 料	<p>○言語活動を重視した教材、漫画で見せる教材、コラムと読み物がセットになった教材、小学校道徳の定番教材、先人や現在活躍している人物から学ぶ教材など、多様な教材が掲載されている。</p> <p>○教材の場面にあった様々な写真、挿絵、漫画形式の資料などを掲載している。</p>
	表 記・ 表 現	<p>○カラーユニバーサルデザインへの配慮がなされ、各教材で学習指導要領の4つの視点を表す印がつけられており、シーズンごとに色分けもされている。</p> <p>○中学校以上の配当の常用漢字全てに振り仮名を付している。また、読みやすさに考慮し、熟語の混ぜ書きを極力避けている。そのため、常用外漢字を用いる場合は、その熟語全体に振り仮名を付している。</p>
総 括	<p>○生徒が主体的に「どう学ぶのか」「なぜ学ぶのか」を意識して学習できるようにしている。「私の気づき」では1時間ごとに生徒が感じたことや考えたことなどを書き留められるようにしている。「学びの記録」では、生徒は自分の変化や成長を振り返ることができ、教師は生徒の成長を見取ることができるようになっている。</p>	

第11・12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 中学道徳 あすを生きる (日本文教出版)	
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領の 教科の目標との 関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫> ○問題解決的な学習を想定して構成した教材は、教材のあとに「学習の進め方」を挿入して、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問などを示している。また、別冊「道徳ノート」を使って、生徒が自分を見つめたり、成長を実感できたり、道徳的価値の理解を深め、「考え・議論する道徳」を実現できるように工夫している。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○巻頭のオリエンテーションページに「道徳科で学ぶこと」が配置されており、4つの視点とそれぞれに含まれる内容項目が示されている。さまざまな人物の生き方を教材として取り上げることで、自己を見つめ、人間としての生き方について深く考えられるように配慮されている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○考え、議論し、教材のねらいに迫るための「考える価値のある」発問例が示されている。「自分に+1」は、授業で学んだことを「前向きに自分に生かす」ための発問例であり、これからの生徒自身の生き方に生かしていくことが期待できる。また、「道徳ノート」に自分の考えの変化を継続的に記録することによって、成長や心の変容を実感できる構成になっている。</p>	
特色	<p>内 容</p>	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ問題」については、直接的に扱った教材、間接的に扱った教材、そしてコラムと組合せた「いじめ防止ユニット」を設定している。いじめ認知件数に応じて、このユニットが年間に、1学年では3か所、2・3学年では2か所ずつつけられている。</p> <p>○「生命の尊さ」「安全教育」「キャリア教育」「共生」「情報モラル」「伝統・文化」「国際理解」などについて、生徒が自分のこととして取り組んでいけるような教材が扱われている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○「生命の尊さ」を重点項目として、各学年に3教材掲載している。</p> <p>○中学校3年間の発達の段階を考慮し、各学年にテーマを設定している。特にキャリア教育の理念に配慮した小・中・高等学校連携についても、教材の選定や配列において工夫が加えられている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○「学習の進め方」では、問題解決的な学習のステップとして、「問題解決」→「自力解決」→「集団検討」→「まとめ」を採用し、生徒の道徳性を育成するように配慮している。</p> <p>○ワークシート形式の「道徳ノート」では、多様な話し合いに対応できるように記入欄の工夫がなされている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○「私の生き方」では、各界で活躍中の著名人から中学生に向けて、生き方のヒントや応援メッセージを掲載している。</p> <p>○教材の場面にあった写真・挿絵・漫画などを掲載している。「道徳ノート」は、教科書と同じ学習順になっており巻末には、保護者記入欄がある。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。</p> <p>○漢字は、原則として中学校で学ぶ漢字までを使用し、中学校で学ぶ漢字やキーワード・固有名詞等の漢字にはすべてに振り仮名をつけている。ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文の割り振りは読みやすいまとまりで折り返すように配慮している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○「考えてみよう」で議論する発問例や、自分に生かす発問例を挙げて、ねらいに迫ることができるようにしている。「学習の進め方」では、話し合いや体験的な学習の流れを提示し、道徳的価値を実践できるようにしている。また、別冊「道徳ノート」に自分の考えなどを書くことで道徳科の学びを積み重ね、生徒が自らの成長を実感し、自分の生き方に自信や誇りがもてるように配置されている。</p>	

第11・12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 中学生の道徳 明日への扉 (学研)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領の教科の目標との関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫> ○3つのテーマから構成されており、深く考え、議論できるよう工夫している。教科書に主題名を表示しないことで、特定の価値観を押し付けることなく、生徒が自ら問題意識をもち、主体的で対話的な授業を展開できるよう工夫している。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○巻頭に道徳オリエンテーションのページを設け、授業の学び方・向き合い方を明示している。自分のことを記述するページがあることで、問題意識をもち、自己を見つめられるようにしている。学びの多様な展開で、物事を多面的・多角的に考えることができるように、同一テーマを複数教材で扱う「ユニット」を各学年2つずつ設けている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○「深めよう」「クローズアップ」「クローズアッププラス」の3つの特設ページを設け、生きる上での考え方の選択肢を増やしたり、多面的・多角的な関連情報からさらに視野を広げたりできるようにしている。</p>
特色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○全学年にわたって「生命尊重」と「いじめ防止」を重点テーマに置き、心の問題に対応できる力を育む多様な教材を用いている。 ○「情報モラル」や「キャリア教育」「防災」など、様々な現代的課題について全学年で取り上げ、積極的に対応している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○「いのちの教育」を全学年の重点テーマにし、「生命の尊さ」だけでなく、それ以外の内容項目の教材とともに「いのちの大切さ」について考えられるようにしている。 ○同じ内容項目を扱う教材は、生徒の生活実態や発達の段階を考慮し、内容の深まりや視野の広がりなど、様々な点を考慮して配列を、学年ごとに工夫して行っている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○多面的・多角的に考え、議論することができるように、異なる複数の意見の提示や、関連情報などを積極的に提供している。 ○あえて主題名を表示しないことで、特定の価値観を押し付けることなく、生徒が自ら問題意識をもち、主体的で対話的な授業を通して、人間としての生き方について考えを深めることができるようにしている。</p> <p>資料 ○A4判にすることにより、絵や写真、図やグラフを見やすく提示し、教材や学びに対する生徒の興味や関心を高める工夫がなされている。 ○様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材や、人生の足跡からたどる学びの宝庫である先人たちに関係する教材など、生徒が興味・関心をもって学べるように、心を引き込む教材を多数掲載している。</p> <p>表記・表現 ○目次・教材番号の下部に4つの視点の色分けをし、内容の全体構成及び相互の関連性と発展性を明確にしている。 ○中学校で学習する漢字や固有名詞にふりがなをつけるなど、漢字の学習状況に関わらず、読み進めることができるように配慮している。</p>
総括	<p>○主題名を本文より前に表示しないことで、生徒が自ら問題意識をもち、主体的で対話的な授業を通して、人間としての生き方について考えを深めることができるようにしている。「深めよう」では体験的な学習を、「クローズアップ」では別の観点から学習を提供し、「クローズアッププラス」では更に視野を広げ学べるよう工夫し、「生命尊重」や「いじめ防止」につながる体験的な学習をバックアップしている。</p>

第11・12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 中学生の道徳 (廣濟堂あかつき)	
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領の 教科の目標との 関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫> ○教材と「道徳ノート」の2冊構成となっている。教材ごとに「考える・話し合う」のコーナーを設置し、学習の手がかりとなる問いや、考えを広げたり深めたりできるようにしている。「道徳ノート」は、道徳的価値を明確にするために、内容項目別に構成している。また、内容項目別の道徳的価値についての解説を記載している。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○巻頭に道徳の授業の学び方を紹介するページがあり、生徒が問題意識をもって取り組めるように示している。また、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習ができるよう、全教材に「考える・話し合う」を設置し、生徒の主体的・対話的で深い学びを促す工夫をしている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○「考えを広げる・深める」の問いにより、道徳的実践意欲と態度を養うことができるようにしている。「道徳ノート」には、授業を通して感じたことや考えたことを記述したり、記述したことを振り返ったりすることで、生徒が成長したり、課題や目標を見つけたりすることができるようにしている。</p>	
特色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「生命尊重」に重点を置き、年間3時間を配当している。 ○全ての学年において、防災教育や情報モラル、持続可能な社会の実現について考える特集ページを設けて、折に触れて活用できるように工夫されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○「自主、自律、自由と責任」・「生命の尊さ」・「思いやり、感謝」・「よりよく生きる喜び」を、各学年3教材を配置し、特に「いじめ防止」・「生命の尊重」については一層充実した学習が図られるように工夫している。 ○各学年「アイツ」シリーズを用い、発達段階に即して、より深く考えられるよう工夫している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○教材ごとに、学びの手掛かりとなる「考える・話し合う」を配置し、生徒が主体的に思考を深めたり、積極的に話し合いを進めたりできる工夫がされている。 ○「道徳ノート」に「心のしおり」があり、内容項目別に構成され、教材別に学習の自己評価をし、自己の成長を振り返ることができる工夫がされている。</p>
	資 料	<p>○写真や漫画を基に考える教材がある。先人の逸話やさまざまなジャンルで活躍する著名人、スポーツ選手を扱った教材が掲載されている。 ○教材に関連した格言が掲載されている。</p>
	表記・表現	<p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点を色分けして示している。索引は4つの視点と内容項目ごとに分類して示している。 ○配当漢字及び、未習の漢字については、ページ初出のみならず、全てにふりがなを付している。難解な言葉や必要な情報は脚注で解説している。</p>
総 括	<p>○教材と「道徳ノート」の2冊構成となっている。教材ごとに、主題、「考える・話し合う」を設置し、学習の道筋を示したり、学習を広げたりできるように工夫している。さらに、「道徳ノート」にある「心のしおり」では、教材別に学習の自己評価をし、振り返ることができるようにしている。また、学級担任が評価をする際に活用することができるようにしている。</p>	

第11・12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 道徳 中学校 (日本教科書)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領の 教科の目標との 関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めていくようにする工夫> ○価値観が多様化している昨今において、様々な価値観を受け入れる寛容な心を育てることを重点とし、身近な事例や、社会においての自分を振り返ることができる教材を多く掲載している。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○巻頭に詩やオリエンテーションのページがあり、生徒が問題意識をもって取り組み、自己を見つめられるようにしている。教材の末尾に自己の生き方への考えを深めさせたり、物事を多面的・多角的に考えたりできるように設問を用意している。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○教材ごとに設けられた「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」の問いにより、道徳的実践意欲と態度を養うことができるようにしている。また、全学年、巻末に心の成長を振り返るページを設け、1年間の心の変容を見取り、さらによりよく生きる意欲をもたせる工夫をしている。</p>
特色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○障害者差別解消法を学ぶ教材を配置し「インクルーシブ教育」の理念に基づいて、生徒が障害のある子どもたちの立場や視点を理解して、自然に受け入れられる姿勢を育む工夫をしている。</p> <p>○「いじめ」を絶対に許さない態度を育てる教材や、「情報モラル」について話し合える教材を取り入れ、学級づくり、友人との関係づくりに生かせる工夫がなされている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○各学年「リョウとマキ」シリーズを用い、発達段階に即して考えることができ、同じテーマ、同じ登場人物で考えることにより、深く考える工夫がされている。</p> <p>○「いじめ」をテーマに「生命尊重」を考えさせる教材を各学年3教材配置し、価値の多様性を受け入れ、寛容な心を育む内容を扱っている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○教材ごとに、学びの手掛かりとなる「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」を配置し、生徒が主体的に思考を深めたり、積極的に話し合いを進めたりできる工夫がなされている。</p> <p>○問題解決的な学習や、体験的な学習ができる教材が設定されており、イラストとともに手立てが見やすく提示されている。</p>
	<p>資料</p> <p>○先人の逸話やさまざまなジャンルで活躍する著名人、スポーツ選手を扱った教材が掲載されている。</p> <p>○大きな写真やアニメ風のイラストを掲載している。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○教材ごとに、学習指導要領の4つの視点を色分けして示している。索引は4つの視点と内容項目ごとに分類して示している。目次の番号は学習指導要領の内容項目のものと対応している。</p> <p>○学習指導要領の内容項目順に配置している。掲載されている順番に縛られることなく自由に教材を活用できる。</p>
総括	<p>○道徳的価値を明確にするために、内容項目別に教材を配置している。教材ごとに、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」を設置し、学習の道筋を示したり、学習を広げたりできるようにしている。巻末に心の成長を振り返るページを設け、1冊全体で1年間の自分の成長を感じられる構成になっている。</p>